

# 令和3年度 ネットワーク事業 健康増進施設・連絡会議 実施報告書

## 1. 会議概要

【目的】 本会議は、愛知県内の健康増進施設の運営等に携わるものによる情報交換、連絡会議を行うことで、県民の運動・身体活動量の増加、運動しやすいまちづくり推進及び、指導者のスキルアップを図ることを目的とする。

【方法】 感染症拡大防止のため、ウェブ会議システム（webex）を利用した情報提供、意見交換を実施した。

【対象者】 健康増進施設（運動施設）の管理者や指導員、企業・自治体の健康管理者および衛生部門の担当者等

### 【カリキュラム】

情報提供：「あいち健康プラザが作成した医療機関連携手帳（CREpas）について」

意見交換：「運動施設における課題や取り組み」

カリキュラム名	講師所属・氏名
開会あいさつ（10分）	公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団 理事長 大参 澄夫
情報提供（15分） 「あいち健康プラザが作成した 医療機関連携手帳（CREpas）について」	あいち健康の森健康科学総合センター 運動指導員 榊原 繁
意見交換（50分） 「運動施設における課題や取り組み」	あいち健康の森健康科学総合センター 生活習慣病予防課長 尾関 拓也

## 2. 会議要旨

### ● 「開会あいさつ」

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団 理事長 大参 澄夫

今回の連絡会議のテーマを「運動施設における課題や取り組み」とした背景として、健康日本21あいち新計画では運動に関する目標として「日常生活における歩数の増加」、「運動習慣者の割合の増加」が掲げられている。今回の会議は、健康増進施設、行政機関、企業等の各方面の関係者が一同に話せる場であり、県内の健康増進施設の取り組みや、コロナ禍での工夫点などを共有し、県民が運動しやすいまちづくりと環境整備等の推進及び、指導者のスキルアップの場として非常に有意義な意見交換が行われることを期待していると、開会の挨拶といたしました。



## ●「あいち健康プラザが作成した医療機関連携手帳（CREpas）について」

あいち健康の森健康科学総合センター 運動指導員 榊原 繁

愛知県研究開発事業（H30～R2）において、地域健康増進施設における心疾患保有者への対応に関する研究を行いました。心臓リハビリテーション維持期では、生活の身近な場で運動を継続する必要性が示されていますが、地域の健康運動施設においては、実際の受入に不安がある、どんな運動メニューを提供してよいか分からないなどの声が挙がっていました。地域で安全に受入ができる施設が増えること、対象者が安心して運動を継続できることを目指し、医療機関と連携した運動プログラム開発を行いました。その研究成果物として、医療機関連携手帳（CREpas）を作成しました。この手帳を活用した運動プログラムについて、運動指導員の榊原より情報提供しました。



## ●意見交換「運動施設における課題や取り組み」

進行 あいち健康の森健康科学総合センター  
生活習慣病予防課長 尾関 拓也

本会議の主旨である「健康日本21 あいち新計画～身体活動・運動～」の推進における、「日常生活における歩数」、「運動習慣者の割合」等の達成状況を共有しました。次年度に最終評価を控えているものの、中間評価の段階では、男女とも目標値には達成しておらず、達成に向けて「あいち健康マイレージ」等、取組みの強化を目指しています。意見交換では、オンライン上でご出席者の皆さまに、各施設の取組み紹介、コロナ禍での対応など様々な立場からの活発なご意見をいただきました。



<オンライン会議の様子>



<主催者会場の様子>



<意見交換内容>

1) 医療機関連携手帳 (CREpas) の活用について (質問)

- ・実際に手帳を使用した事例はあるか、どこで手帳を入手できるか

→これまでも心疾患治療後の利用者は受け入れておりますが、手帳に関しては完成したばかりで、今後、関連施設でのスタッフ研修と近隣の医療機関への周知を図っていく予定です。あいち健康プラザのホームページからダウンロードしていただけます。

2) 医療機関連携手帳 (CREpas) の活用について (ご意見)

- ・医療機関との連携は必要に感じるが、心臓リハビリテーションの受け入れはまだできていない。今後、具体的に医療機関連携を進めていきたい。(健康増進施設担当者)。

3) 運動習慣者を増やすための取り組みと感じている課題 (ご意見)

- ・フィットネスクラブ利用者は、自ら運動したいという意欲のある準備期以上である。そのため、無関心期の人に対応する機会があまりない。(健康増進施設担当者)
- ・ウェアラブル端末を利用したイベントを行っている。達成状況に応じたインセンティブを用意している。登録はしても、継続率が低いという課題がある。(健康保険組合担当者)
- ・健康度評価にて体力低下がみられたり、生活習慣改善が必要な人に対し、運動教室や健康セミナーを案内している。途中で脱落してしまう人がいることが課題。また、初回参加ではなく、複数回参加している人が多いことも課題に感じている。(健康増進施設担当者)
- ・子育て世代に対応する健康づくりの取り組みができるとよい。(健康増進施設担当者)

4) コロナ禍での事業運営、工夫や課題 (ご意見)

- ・休会する会員が増加したため、退会しない手立てとして、自宅で運動継続 (運動量確保) していただける資料を作成し、配布した。(健康増進施設担当者)
- ・会員に対し、ZOOMを利用したオンラインセミナーを開催した。(健康増進施設担当者)
- ・休館になったが、LINEで会員限定の情報提供を行った。(健康増進施設担当者)
- ・運動動画を作成しYouTubeにあげ、情報発信しているが、実技指導はやはり対面で行うべきと感じている。(健康増進施設担当者)

### 3. 参加状況について

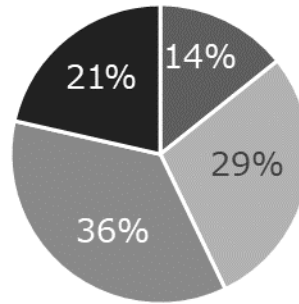
#### <参加者数>

14名(男性：5名、女性：9名)

#### <所属別>

施設区分	人数
健康増進施設（行政）	2人
健康増進施設（民間）	4人
行政機関（健康増進部門）	5人
その他	3人

#### 所属別

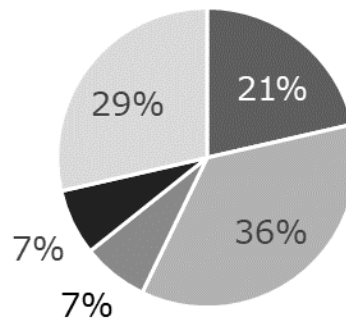


- 健康増進施設（行政）
- 健康増進施設（民間）
- 行政機関（健康増進部門）
- その他

#### <職種別>

職種	人数
健康運動指導士 （運動指導員含む）	3人
保健師・看護師	5人
管理栄養士	1人
施設管理者	1人
その他	4人

#### 職種別



- 健康運動指導士
- 保健師・看護師
- 管理栄養士
- 施設管理者
- その他

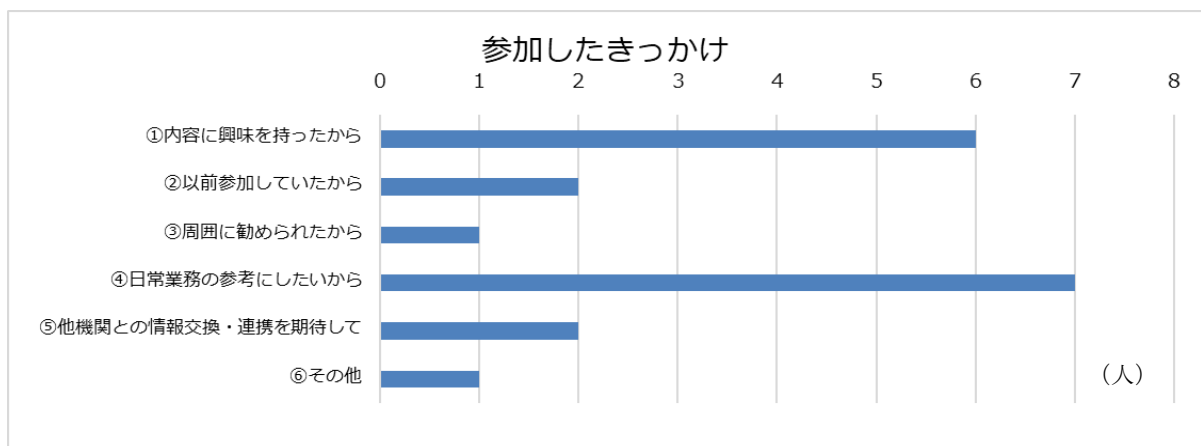
### 4. アンケートについて

#### <回収状況>

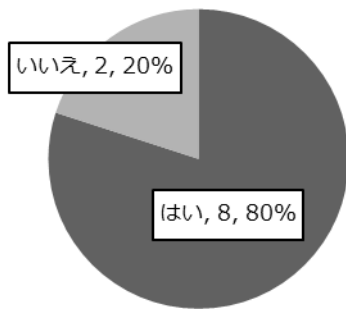
10名から回収（回収率71.4%）

#### <質問項目のまとめ>

##### 1) 参加したきっかけ（複数回答可）

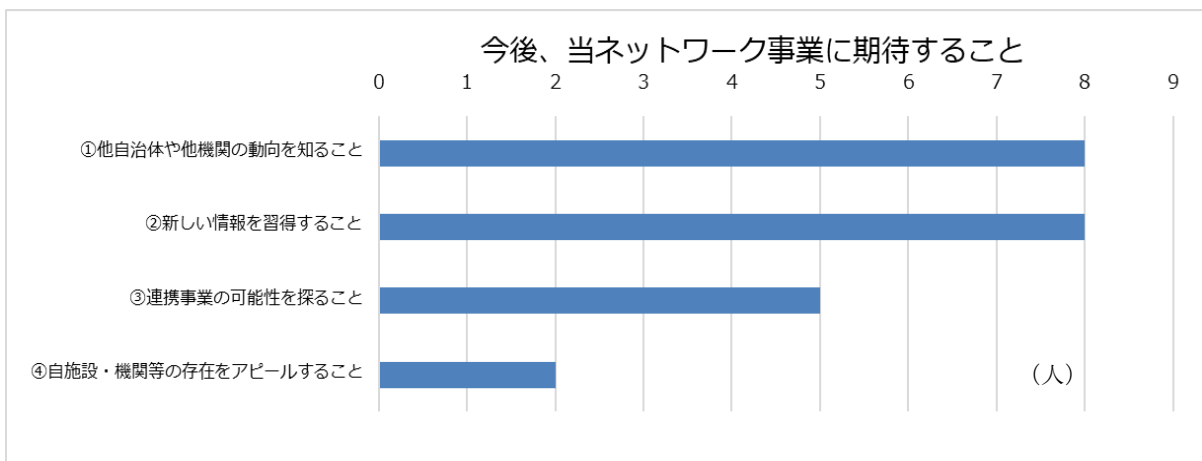


2) 今後も web セミナーに参加したいか



いいえの理由  
 ・会議内容や参加者の顔ぶれを拝見し、場違いに感じてしまったため。

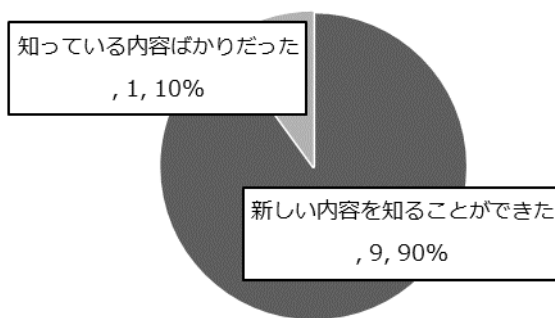
3) 今後、当ネットワーク事業に期待すること（複数回答可）



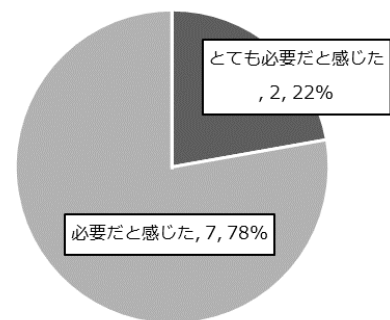
4) 連絡会議の内容を聞いての結果

① あいち健康プラザが作成した医療機関連携手帳（CREpas）について

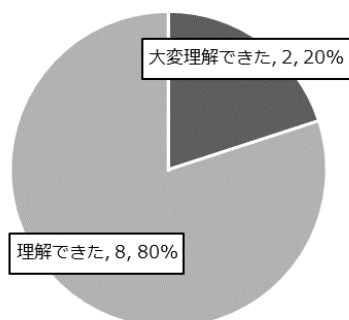
【認知度】



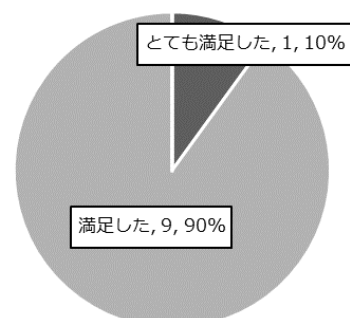
【必要度】



【理解度】

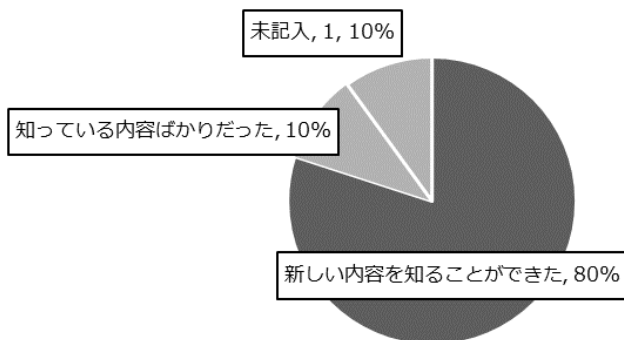


【満足度】

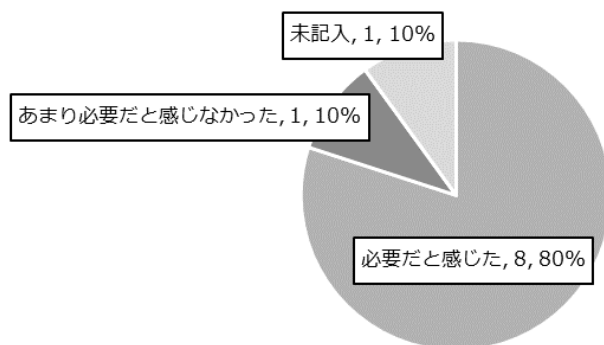


## ② 意見交換

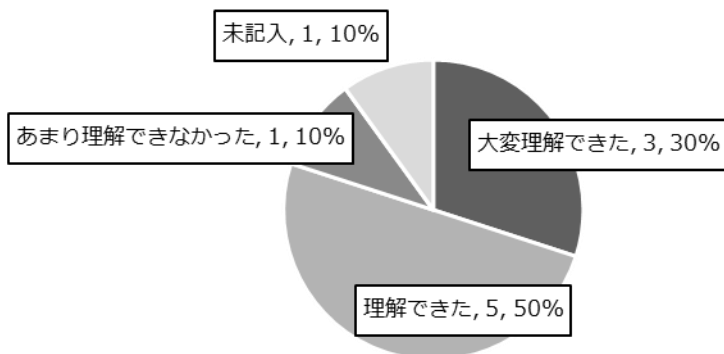
### 【認知度】



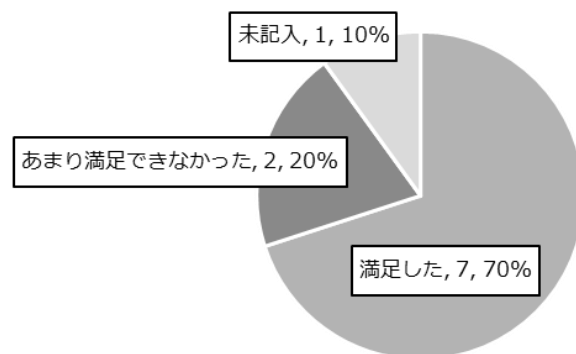
### 【必要度】



### 【理解度】



### 【満足度】



## 5) 受講者の感想

### ●講義、意見交換について

- ・他市町村、企業、健康増進施設それぞれの取り組みについて学ぶことができ大変勉強になりました。
- ・コロナ禍でも運動継続できるように、様々な工夫をして運動継続に取り組んでいることが分かった。
- ・行政として健康増進施設と連携しているが、現在は健康日本 21 におけるワーキングでの関与のみであり、今後の進め方が課題。
- ・地域が近い方と意見交換ができると、より密な連携が取れると思った。
- ・無関心層へのアプローチ方法について知れたらもっと良かった。
- ・自治体や企業の方から、運動習慣者を増やす取り組みに関して話を聞きたかった。
- ・各施設が課題に感じていることや話し合いたいことを事前に聞き取り、意見交換の進行、舵取りを行うと良い。
- ・地元クリニックと運動施設の連携がもっと進み、患者さんが安心して利用できることが、まずは大事。

●開催方法について

- ・web開催だから参加できた。
- ・勤務時間内での移動が困難なため、web開催はありがたい。
- ・web開催だったため、参加者同士の直接的な情報交換が難しかった。
- ・途中、音声途切れたり、画像が停止したりして聴きづらかった。